ローカル移動成分のMaya2022とMameBake3Dにおける表示の違いについて

Maya2022において

ジョイントを選択してプロパティの移動成分をみると

０ではない数値が入っていることが多い

一方、MameBake3Dにおいて

コンボボックスでIKMoveを選択してオイラーグラフに移動成分を表示

そのときIKによる移動アニメを編集していない場合には

グラフは０を示している

両方ともあっています

Maya2022の移動成分をLclTranslation、

MameBake3Dの移動成分をTraAnim、

ジョイントの位置をjointpos、

親のジョイントの位置をparentjointposと置く

すると次の数式が成り立つ

TraAnim = LclTranslatino – jointpos + parentjointpos

MameBake3Dではアニメーションとしての移動成分をグラフ表示するので

移動アニメを編集していなければグラフとして０が表示される

Maya2022ではジョイントの相対位置座標が表示される